

令和 4 年 11 月 2 日
厚生労働省職業安定局雇用開発企画課
農山村雇用対策室

民間競争入札実施事業
「農林業職場定着支援事業（林業就業支援事業）」の自己チェック資料

① 「実施要項における競争性改善上のチェックポイント」の対応状況

- ① 事業期間の設定について、受託者にノウハウが蓄積されることによって、初期投資を回収できるから複数年の効果を期待し、単年で実施していたものを複数年（3年）とした。
- ② 入札公告から事業開始までのスケジュールについて、十分余裕をもったものとした。
平成 30 年度事業【市場化テスト前】・・・平成 30 年 1 月 29 日公告、平成 30 年 3 月 1 日開札（22 開庁日）
平成 31 年度（令和元年度）事業【市場化テスト第 1 期】・・・平成 31 年 1 月 31 日公告、平成 31 年 3 月 4 日開札（21 開庁日）
令和 2 年度～4 年度事業【市場化テスト第 2 期】・・・令和 2 年 1 月 15 日公告、令和 2 年 3 月 5 日開札（34 開庁日）

② 実施状況の更なる改善が困難な事情の分析

本事業は、平成 22 年度に林業雇用改善推進事業（林業事業者に対する雇用管理改善）と林業就業支援事業（林業求職者に対する講習）を統合し、全国実施として以降、平成 25 年度まで企画競争（随意契約）で実施し、平成 26 年度以降、最低価格落札方式による一般競争入札により調達してきたが、いずれの年度も同一事業者による一者応札（応募）となった。

これは、本事業が林業という特殊な業種に限定したものであり、特に就業支援講習においては、山林地内の実習フィールドで伐木等の実地講習を行うことにしており、実地講習を実施する場所、材料及び専門の人材の調達等についてノウハウを持たない事業者が参入しにくいことによるものである。

上記実地講習を行うことができるのは、当該業務に専門性を持つ一者応札（応募）における契約相手方である全国森林組合連合会に限定されると思われる。

(参考) 契約の変遷

年度	調達方式	応札者数	契約相手方	備考
平成 22 年度	随意契約 (企画競争)	1	全国森林組合連合会	
平成 23 年度	随意契約 (企画競争)	1	全国森林組合連合会	
平成 24 年度	随意契約 (企画競争)	1	全国森林組合連合会	
平成 25 年度	随意契約 (企画競争)	1	全国森林組合連合会	
平成 26 年度	一般競争入札 (最低価格)	1	全国森林組合連合会	
平成 27 年度	一般競争入札 (最低価格)	1	全国森林組合連合会	
平成 28 年度	一般競争入札 (最低価格)	1	全国森林組合連合会	
平成 29 年度	一般競争入札 (最低価格)	1	全国森林組合連合会	
平成 30 年度	一般競争入札 (最低価格)	1	全国森林組合連合会	
令和元年度	一般競争入札 (最低価格)	1	全国森林組合連合会	市場化テスト
令和 2~4 年度※	一般競争入札 (最低価格)	2	株式会社エヌアイエスプラス	市場化テスト
令和 4 年度	一般競争入札 (総合評価)	1	全国森林組合連合会	

※事業の廃止により契約は令和 3 年度末まで。